

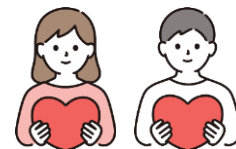
山形県こども会議 報告書



開催日 令和6年9月7日

場所 スタートアップステーション・ジョージ山形

1 やまがた愛を持ち 健やかに成長するために



こども会議の意見

- こどもたちが自分らしくいられて幸せになるため、学校や家庭、地域社会でこどもの個性が認められ、こどもの権利と主体性が尊重されることが大切である
- みんなと同じことができないと認められない、人と違うことを言うと空気が読めないと言われいじめに発展することがある
- 主体性のある教育を受けていたら、山形に対する思いも強くなり、山形の課題解決について行動したり起業したりする人が増えるかもしれないから、こどもの主体性を育む教育が受けられるようにしてほしい
- こどもが楽しめる施設があったほうがいい
- 娯楽や憩いの場や交流の場が少ないので、スポーツを楽しめる場所や交流の場を増やしてほしい
- 部活の地域移行により、部活に入らない人が増えると、ゲームセンターや親がいない家に集まってしまうという問題が生じると思うから、休日や長期休暇、今まで部活をしていた時間に過ごせる“中学生の居場所”となる施設を作してほしい
- 地域のサポートが充実し、こども一人ひとりに居場所があると感じられる街になればいい
- 声を出して話しながら勉強できるような学校の総合学習をするスペースがあればいい
- 共働き世帯が多く、放課後ひとりで居るこどもが多いので、こどもが孤立しないようこども同士の新しい交流の場となるような学校以外の居場所を作ることが必要だと思う
- こどもを支える大人が幸せになることが必要だから、「山形県おとな会議」もした方がいい
- 学生と行政がもっと身近になることが必要だから、行政を交えた意見交換の場を年に数回設ければいい

2 若者が山形で夢と希望を叶えるために



こども会議の意見

- 山形県の魅力をさらに増やしていくことで、山形に住み続けようと思う人が増えると思う
- 自然豊かな観光スポットや農業など、山形の強みを明確にして、山形にくる目的をつくるため、県の魅力を発信し「山形と言ったら○○」という印象を与えることが重要
- 若い人は新しい、流行のものが好きだから、ユニークなもの、新鮮なものがほしい
- 県外への就職や進学を希望する人も多いが、県外に行くからといって二度と山形に戻ってこないというわけではなく、いずれは山形に戻ってくることを前提に県外に出る人も多いという現状をもっと知ってほしい
- 山形から1回離れたが戻ってきた人や、県外から山形に来てくれた人への支援をするという
- 高校や大学を卒業した人が、「山形のここで働きたい」と思えるような会社があればいい
- 大人になったときに魅力的な職業があればいい
- 県内で自分の好きなことが学べるよう専門学校を増やしたらいいと思う
- 若者が県外に出ていくことが多いので、こどもを持つ人が新婚夫婦に子育てのコツを教えるなど若者の将来の生活を支える施策があればいい
- どんな仕事でもある程度の収入を得られることが大切だと思う
- 若者が意見を言う場がなく、反映されづらいので、若者と行政がもっと身近になることが必要

3 安心して山形でこどもを生き育てるために

こども会議の意見

- 地域ごとに、子育てする親の負担をできるだけ減らすための施設があるといい
- 親同士で気軽に子育ての悩みを相談することができるとうい
- 大人が安心できる環境を作れば、こどもも自分の意見を言えるようになると思う
- 住んでいるところには小児科がないため、病気にかかると遠くの病院に行くのに時間がかかって大変なので、身近に病院があればいい
- こどもが幸せになるには、親の生活が安定し心にゆとりを持てるようにすることが必要だと思う
- 子育てしやすい環境づくりには、保育所や幼稚園、放課後児童クラブの数と預かり時間を増やし、料金を安くする必要があると思う



4 困難を有するこども・若者とその家族が未来を切り拓くために



こども会議の意見

- 貧困家庭やひとり親家庭に向けて行っている支援を広げて知ってもらい、活用してもらいやすくすればいい
- ひとり親の場合は、子育てについて電話で気軽に相談できる窓口があったらいい
- 地域で利用できる育児支援やカウンセリングを電話、対面での相談だけでなく、匿名でできるチャットなども作るといい
- ひとり親家庭への生活支援を増やし、生活に困らない家庭を増やしたらいい
- 「貧困」から「虐待」に至るケースがあると思うので、生活に最低限必要なものを必要な分、審査に通った人に支給するシステムがあればいい
- 虐待や貧困に苦しむこどもを救うため、まだ食べられるのに捨ててしまうものや余った食材などを使った料理を一緒に食べる機会があるといい
- 親や学校だけでなく、地域で児童虐待に関する理解を深めることが必要だと思う
- 家庭の問題を根本から解決するのは難しいが、こどもにとって「もう一つの居場所」があるだけで楽になるので、「新しい居場所」での交流を通して虐待を防止する取り組みをしたらいい
- こどもが孤立してしまわないようこども同士の新しい交流の場となるような学校以外の居場所を作ることが必要だと思う【再掲】

5 こども・若者、子育て当事者に温かい社会づくりのために

こども会議の意見

- 田舎だからこそできる「人のつながり」を大切に活動を増やしていくといい
- 地域内でこどもの見守りができる状況をつくる必要があると思う
- 女性が活躍できる場面や働きやすいことをもっと知ってもらいたい
- 育児休暇は取れる状況にあっても「男性は仕事、女性は家事」という意識が強く根付いているため、男性の育休取得に対する雰囲気を変えていく必要があると思う
- 男性と女性で仕事と家事が分けられるという考えを壊し、育児休暇に理解のある環境を作っていく必要があると思う

